平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号）	提案機関名	環境農政部緑政課
413 ※記入不要		

要望問題　ニホンジカ保護管理に係るモニタリング項目及び手法の改良について

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

【背景】

丹沢山地の一部で偏って高密度化しているニホンジカの採食等の影響により、自然植生に大きな影響が生じており、現在、丹沢大山保全計画（H11.3 策定）及び神奈川県ニホンジカ保護管理計画（H15.3）に基づいてニホンジカの保護管理を進めている。ニホンジカの保護管理にあたっては、自然環境の持つ不確実性・非定常性に対応するため、モニタリングを行うことが不可欠であるが、広大な山域でニホンジカの生息密度と自然環境への影響を継続的にモニタリングしていくために非常に大きな労力を要している。

また、現在は、シカの数を示す指標と、植生の劣化状況を示す指標について、モニタリングを行っているが、ニホンジカが自然環境に与えている影響を必ずしも適切に評価出来ていない。

さらに、やみくも調査項目や調査量を増やすことは、費用と労力の負担が大きいばかりでなく、調査行為そのものが自然環境に与える負荷が無視できないほど増大する恐れがある。

【内容】

自然環境を構成する様々な要素を統合的に視野に入れた上で、より効率的にかつ調査そのものの自然環境への負荷を軽減した手法で、ニホンジカの生息密度と自然環境に与える影響との関係を捉えるために、モニタリング方法の改良に資する次の項目等について研究、報告をお願いする。

・ニホンジカの数（生息密度）のモニタリングの効率化

・植生や動物相などのうち、自然環境の変化を的確に示す指標の選択とそのモニタリング手法の考案

・丹沢大山で、シカの影響を受けやすく、対策の必要性が高い地域、環境又は生物相の抽出

【対象地域】

神奈川県ニホンジカ保護管理計画対象市町村（秦野市、厚木市、伊勢原市、松田町、山北町、愛川町、清川村及び津久井町）、特に丹沢大山保全計画対象区域内。

解決希望年限	①１年以内　**②２～３年以内**　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　**③共同研究**　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） **⑨自然環境保全センター**

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	自然環境保全センター研究部
部　　署：	森林保全グループ
対応区分	①実施 ②実施中 **③継続検討** ④実施済 **⑤調査指導対応** ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名	（①、②、④の場合）

対応の内容等

要望については、保全センター野生生物課が実施している「ニホンジカモニタリング事業」の結果、「丹沢大山総合調査生き物再生調査」の結果を分析することで、自然環境変化指標の選択、対策の必要性が高い地域などの抽出が行えると推察する。ニホンジカ生息密度および自然環境変化の的確なモニタリング手法については、現行手法の問題点と併せて選択可能な技術についての検討を行い課題設定の可能性を探りたい。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	